

# 平和のひびき

平和の音を伝え続けるために



この小冊子は、日本戦災遺族会事務局の協力を得て、「平和への想い・2010」((社)日本戦災遺族会発行)を基に、松山市が作成・発行したものです。



昭和廿七年七月廿六日  
米機空襲松山市焼打図  
手島石泉画



米機空襲松山市焼打図

手島石泉画



# 太平洋戦争末期、50万を超える市民が犠牲になった



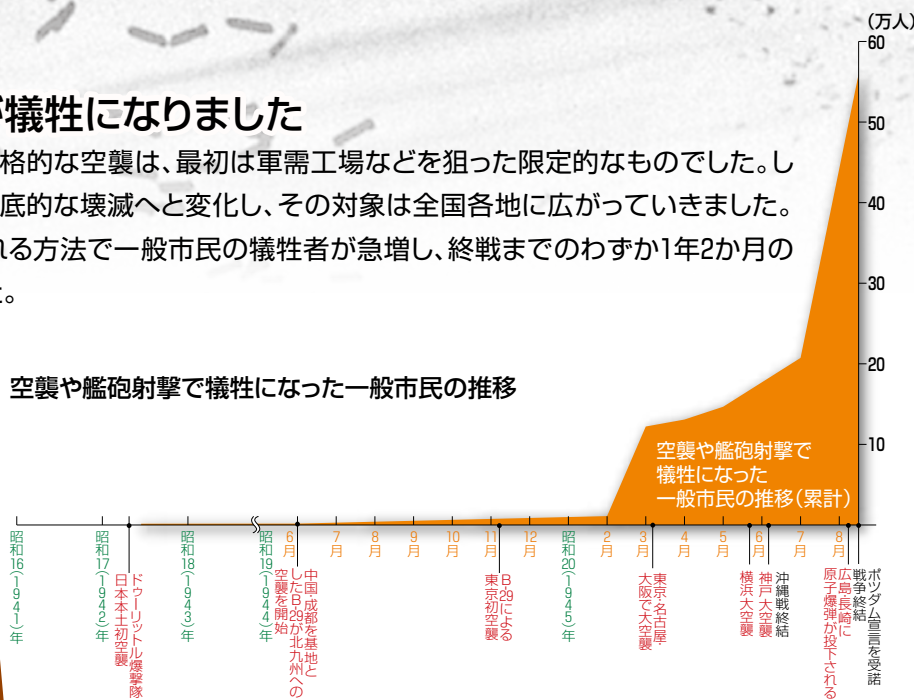
## 日本中がたびかさなる空襲と艦砲射撃、機銃掃射(P8参照)を受け、大都市から小さなまちまで焼け野原になりました

アメリカとの戦争の真っ只中、軍国主義の下で学び、育った人々は、「日本は絶対に負けない」、「勝つ」と信じていました。最初は日本が強かったのですが、次第にアメリカの反撃で敗退を続け、ついに日本中のまちがことごとく空襲を受けるようになりました。家が焼け、学校が焼けてまちは焼け野原となり、家族や友だちの命も奪われて、当時の人々は大変な目に遭いました。

## そして、50万人以上の市民が犠牲になりました

昭和19年6月から始まった日本本土への本格的な空襲は、最初は軍需工場などを狙った限定的なものでした。しかし、空襲の目的は普通のまちや家々の徹底的な壊滅へと変化し、その対象は全国各地に広がっていきました。「じゅうたん爆撃」や「無差別爆撃」と呼ばれる方法で一般市民の犠牲者が急増し、終戦までのわずか1年2か月の間に50万人以上の市民が命を奪われました。

空襲や艦砲射撃で犠牲になった一般市民の推移



原爆を除くと、1回の空襲でもっとも被害が大きかったのは東京大空襲です。一説では10万人超ともいわれる犠牲者のほとんどは、焼夷弾による激しい火災に巻きこまれ、絶命しました。一夜明けた市内には黒こげになった犠牲者がいっぱいでした。



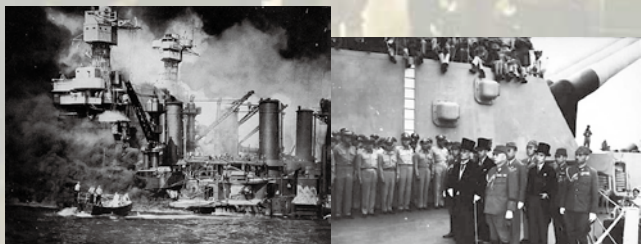


# 【空襲の背景・日本側の視点】 太平洋戦争とは何だったのか

昭和12(1937)年に起きた盧溝橋事件は、これによって始まった日中戦争だけではなく、やがてはアジア全域を巻き込んだ太平洋戦争へ突入する引き金ともなりました。

なぜ太平洋戦争が起きたのか。それには複雑な背景と要因があるほか、歴史的、政治的観点での諸説も入り乱れ、答えはひとつではありませんが、国内では軍部の暴走が認められた一方、国際的には戦争への枠組みへと日本が追い込まれていったことも事実です。

石油や鉱物資源が乏しい日本は輸入に頼るしかありませんが、当時、最大の依存先だったアメリカは、中国や仏領インドシナでの日本の展開を封じ込める外交手段として、対日輸出禁止に踏み切りました。追い詰められた日本は資源を求めて、南方に向



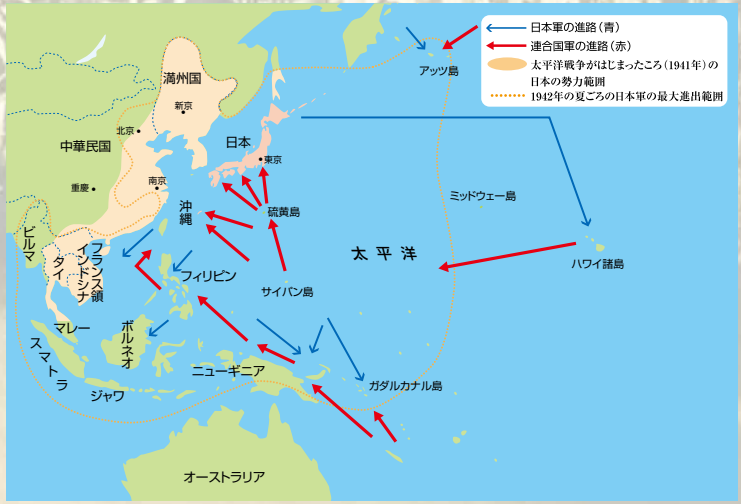
日本軍機による真珠湾攻撃で炎上するアメリカの戦艦

日本は戦争に負け、無条件降伏を受け入れた。降伏文書の調印に臨む日本政府と軍の全権とその一行

かうしか道がなくなったのです。

戦争は政治の延長といわれます。日本が戦争を始めた理由も、単に「日本は軍国主義だったから、軍事的解決をめざした」だけでは説明がつかいません。しかし、その誰も止めることのできなかった激しい歴史の渦に巻き込まれ、ついに日本全土への無差別爆撃という惨禍を招き、その最大の被害者は、普通に当たり前の暮らしをしていた一般市民だったのです。

## ■広大な範囲とさまざまな国を巻き込んだ太平洋戦争のようす



## ■太平洋戦争に至るおもな出来事

- 昭和 6(1931)年 満州事変が勃発(柳条湖事件)
- 昭和 8(1933)年 日本が国際連盟を脱退
- 昭和12(1937)年 日中戦争が勃発
- 昭和13(1938)年 国家総動員法が制定され戦時色が濃厚になる
- 昭和15(1940)年 日独伊三国同盟を締結、アメリカとの関係が悪化

- 昭和16(1941)年 日本がハワイ真珠湾を攻撃、太平洋戦争に突入
- 昭和17(1942)年 日本本土が初めて空襲を受ける。これを契機の一つとして実行に移されたミッドウェー作戦で日本海軍が大敗
- 昭和18(1943)年 ガダルカナル島から日本が撤退、劣勢が決定的に
- 昭和19(1944)年 サイパン島が陥落、ここを拠点に日本本土空襲が本格化
- 昭和20(1945)年 広島・長崎に原爆が投下される。日本が無条件降伏

# 【空襲の背景・アメリカ側の視点】 日本に対する無差別爆撃は計画的だった

アメリカでは太平洋戦争が始まる以前より、日本との間で戦争が起こることを想定して焼夷弾による都市の空襲が研究されていました。関東大震災で東京が火災により壊滅的な被害を受けたことをみて、日本の家屋は「紙と木でつくられた燃えやすい家」であることに着目していたのです。

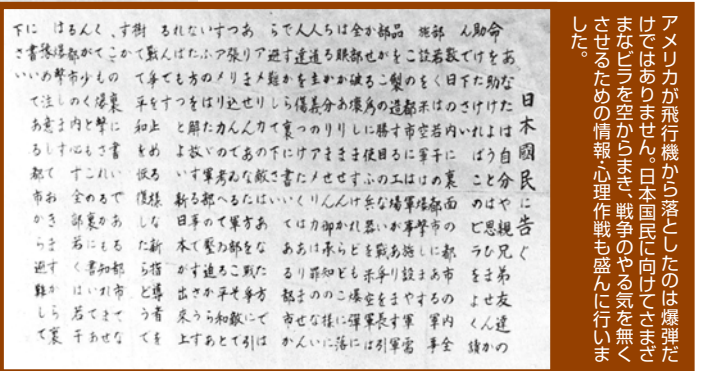
昭和18(1943)年、開発中だった大型戦略爆撃機B29が完成すると、日本本土を空から攻撃し、戦争遂行を支えている軍需産業を一気に壊滅させることを考えました。780機のB29を使い毎月5回の空襲を行えば、6か月で日本全土を破壊できると計算され、6大都市で58万4千人の市民を空襲で殺害するための効果的な方法が検討されました。

日本空襲を指揮したルメイ少将は戦後、「日本人を殺りくすることに悩まなかった」と述べています。その理由として、日本の一

般市民は国家総動員法により男女を問わず国民義勇隊への参加が強制され、竹やりなどで戦う訓練を受けていると思いついていたからです。また、アメリカは、日本は家内工業的な要素が強く、普通の家々が軍需工場の一端を担っており、アメリカは日本全体が巨大な軍需工場と捉えていたのです。このことから、無差別爆撃は市民ではなく日本軍の一員を殺し、軍需工場を破壊するものであり、それにより戦争を早く終結させる当然の手段と考えられていたのです。

## ●無差別爆撃とは

相手を区別せず、攻撃対象となる地域の破壊とせん滅を目的とした空襲のことです。戦争の手段としては非道であるため、国際法違反とされています。日中戦争では、日本が中国の重慶に対して無差別爆撃を繰り返し、当時のアメリカはこれを強く非難しました。しかし、後にそのアメリカも日本に対して同じ手段を使ったのです。世界ではドイツがスペインのゲルニカを、アメリカとイギリスがドイツのドレスデンやハンブルグに行ったことなどが知られています。





# 日本本土空襲429日間のおもな記録

昭和17年4月に日本本土は初空襲を受けましたが、本格的な空襲が始まるのは昭和19年6月以降からです。とくに昭和20年3月以降は空襲が激化し、ほとんど毎日のように日本のどこかで空襲がありました。

※429日間とは昭和17年4月18日の初空襲と昭和19年6月16日から終戦日までの日数を合計したものです。



**B29による初空襲**  
6月16日、中国の成都を基地にしたB29により北九州の八幡製鉄所が空襲を受けました。成都からの距離の関係で、B29が空襲を行えるのは北九州一帯が限界でした。

**沖縄・空襲、艦砲射撃や地上戦**  
沖縄では空襲や艦砲射撃、機銃掃射だけでなく、激しい地上戦も行われました。一般市民の死者は約10万人といわれています。

**B29による東京初空襲**  
それまでB29の基地は中国の成都でしたが、サイパンに飛行場が整備されると日本本土の大部分が攻撃圏内となりました。11月24日、サイパンを飛び立ったB29による初空襲が行われ、その目標は東京の航空機工場でした。

	1944(昭和19)年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
空襲があった日と回数	1日/ 1回	2日/ 2回	3日/ 5回以上	なし	1日/ 3回	7日以上/ 15回以上	19日以上/ 27回以上
空襲を受けた都市の数	1都市	4都市以上	3都市以上	なし	3都市	11都市以上	13都市以上
空襲を受けたおもな都市	北九州	大村・佐世保・長崎・荒尾 など	北九州・長崎・佐世保 ほか		大村・長崎・佐世保	東京・沼津・磐田・田辺・福岡・大村・大牟田・長崎・佐世保 ほか	東京・横浜・名古屋・大阪・塩釜・川越・清水・静岡・浜松・大村 ほか

※表の数字は確実に判明している空襲回数、都市のみの集計であり、日本で起きたすべての空襲の集計ではありません。  
 小規模な空襲は詳細不明であることが多く、それらは集計されていませんので、実際にはこの表の数字をはるかに上回る回数、都市への空襲がありました。  
 ※集計は「日本都市戦災地図」(昭和20年「大東亜戦災被害状況概見図」/第一復員省資料課)、「太平洋戦争における我が国の被害総報告書」(昭和24年「国内資料第8号(戦争被害調査資料4)」/経済安定本部総裁官房企画部調査課)、「全国戦災史実調査報告書」(昭和54年「戦災都市被害状況一覧表」/内閣総理大臣官房管理室による(社)日本戦災遺族会への委託調査)、「戦災復興誌第1巻」(昭和34年「表-1 罹災状況調」「表-5 戦災都市に指定されなかった罹災都市」/建設省計画局区画整理課)を基本に、各市町村史、戦災史、米軍資料などの記録を重ね合わせたものです。  
 ※空襲を受けたおもな都市名は「全国戦災史実調査報告書」を編纂した昭和54年当時の呼び名に基づいています。

## 日本本土空襲の推移・段階のあらまし

### 日本本土初空襲・ドーリットル爆撃隊 1942年4月18日

日本軍の真珠湾攻撃の仕返しに、アメリカは日本本土への空襲を計画しました。それは航空母艦から陸上用の大型爆撃機を発進させる奇想天外な作戦でした。昭和17年4月18日、ドーリットル中佐が率いる16機のB25爆撃機は東京、川崎、横須賀、名古屋、四日市、神戸へと分散し、各地を空襲しました。日本人にショックを与えることが目的なので空襲の規模は小さなものでしたが、被災地で約50名が犠牲となりました。



写真・上/米空母ホーネットから日本初空襲に向かうB25爆撃機。  
 写真・下/発進前、投下する爆弾に日本からもらった勲章を結びつけるドーリットル中佐

### B29による本格的な空襲のはじまり 1944年6月以降

- 第1段階 軍需工場を狙った精密爆撃**  
初期の空襲は製鉄所や軍需工場、軍の飛行場などの特定施設を限定的に狙った「精密爆撃」といわれる方法でした。しかし、特定の場所のみを爆撃するという事は難しく、効果も上がらなかったため、この方法は昭和20(1945)年2月末頃を最後に行われなくなりました。
- 第2段階 大都市の一挙せん滅をめざした無差別爆撃**  
これまでの爆弾から焼夷弾に切り替え、無差別じゅうたん爆撃により一気にまちを焼き払うようになりました。その皮切りが東京大空襲でした。以後、日本のおもな大都市は焼夷弾により焼き尽くされてしまいました。
- 第3段階 目標は地方の中小都市へと拡大**  
日本のおもな大都市が壊滅状態となると、全国の中小都市へと空襲が広がりました。昭和20(1945)年6月以降、空襲の場所や回数が増えているのはこのためです。日本を徹底的に焼き尽くそうとしたのです。



**8月15日・日本最後の空襲**  
 8月14日夜から翌15日未明にかけて秋田県秋田市、群馬県伊勢崎、埼玉県熊谷市で空襲がありました。さらにその帰路、余った爆弾で神奈川県小田原市を空襲しました。時刻的に見て、これらの空襲が日本最後の空襲とされています。

**広島・長崎に原爆を投下**  
 8月6日に広島、8月9日に長崎が原子爆弾による攻撃を受けました。広島で約14万人、長崎で約7万人が犠牲になりました。



**東京大空襲**  
 終戦までに東京には100回以上の空襲がありました。3月10日の東京大空襲は無差別爆撃の象徴として世界的に知られています。一説では10万人以上ともいわれる市民が一夜で犠牲となりました。

**名古屋大空襲**  
 名古屋は大規模空襲だけでも18回を数えますが、そのなかでも最大の空襲が東京大空襲の翌日である3月11日夜から起こりました。犠牲者は他の空襲と比べ519名と少ないものですが、2万5千戸以上の家屋が全焼・全半壊しました。

**大阪大空襲**  
 東京、名古屋に続き、3月13日には大阪が大規模空襲に襲われました。280機に及ぶB29が浪速区をほぼ全滅させたほか、全市が壊滅的な被害を受け、犠牲者は4千名を超えました。

1945(昭和20)年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
1月	22日以上/ 45回	23日以上/ 67回以上	23日以上/ 72回以上	22日以上/ 65回以上	21日以上/ 107回以上	31日/ 290回以上	14日以上/ 130回以上
	17都市以上	37都市以上	26都市以上	30都市以上	56都市以上	157都市以上	84都市以上
	東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・沼津・浜松・伊勢・和歌山・高知 ほか	東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・盛岡・平・大垣・八幡浜・鹿児島 ほか	東京・川崎・横浜・名古屋・神戸・郡山・太田・津・宇部・鹿児島 ほか	東京・川崎・横浜・千葉・名古屋・神戸・浜松・岡崎・徳山・久留米 ほか	東京・千葉・横浜・名古屋・大阪・神戸・日立・静岡・各務原・京都・姫路・岡山・下関・福岡・鹿児島 ほか	東京・川崎・横浜・名古屋・堺・大阪・神戸・室蘭・青森・仙台・浜松・岐阜・福井・高松・高知・大分 ほか	東京・川崎・横浜・大阪・神戸・秋田・釜石・水戸・高崎・長野・長岡・富山・敦賀・岩国・宮崎 ほか

●3月17日・硫黄島を米軍が占領。ここを基地に戦闘機が飛来するようになる  
 ●3月26日・米軍が沖縄に上陸を開始

●6月23日・沖縄戦が終結、米軍が占領

●8月15日・日本が無条件降伏により終戦

**横浜大空襲**  
 横浜は大小29回に及ぶ空襲を受けましたが、最も規模が大きかったのは5月29日の横浜大空襲でした。この空襲で市の44%が破壊され、罹災者は32万人以上に及びました。

**神戸大空襲**  
 神戸とその周辺地域を合わせると120回以上もの空襲を受けています。とくに6月5日の大空襲では死者は3千人以上、全焼全壊の家屋は5万5千戸を超える大被害となりました。

**北海道各地に空襲**  
 航続距離の関係で北海道がB29の空襲を受けることはありませんでしたが、おもに航空母艦から発進した艦載機により、北海道各地に空襲がありました。

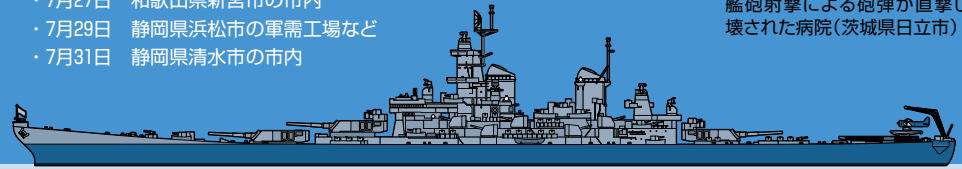
## おもな艦砲射撃の一覧

昭和20(1945)年7月になると米英の戦艦部隊による艦砲射撃が行われるようになりました。その頃の日本には対抗できる海軍力がなかったので、たやすく沿岸に迫り、堂々と攻撃を仕掛けてきました。以下がおもな艦砲射撃ですが、このほか沖縄では上陸作戦を支援するために熾烈な攻撃が連日行われました。

- 7月14日 宮城県釜石市の製鉄所など
- 7月15日 北海道室蘭市の製鉄所など
- 7月17日 茨城県日立市の軍需工場など
- 7月18日 千葉県白浜町のレーダー基地など
- 7月27日 和歌山県新宮市の市内
- 7月29日 静岡県浜松市の軍需工場など
- 7月31日 静岡県清水市の市内



艦砲射撃による砲弾が直撃し破壊された病院(茨城県日立市)



艦砲射撃を行ったアメリカのアイオワ級戦艦



# 空襲は家を焼き、まちを壊滅させ、 家族や友だちの命を奪った

日本の軍事力が衰え、反撃できないことを見計らって、アメリカ軍はその攻撃対象を私たち一般市民に切り替えました。暮らしや経済を空襲により破たんさせることで戦争継続の意思を失わせることが目的でした。そのために全国200以上の都市が壊滅し、多くの一般市民が犠牲になりました。

## 仙台



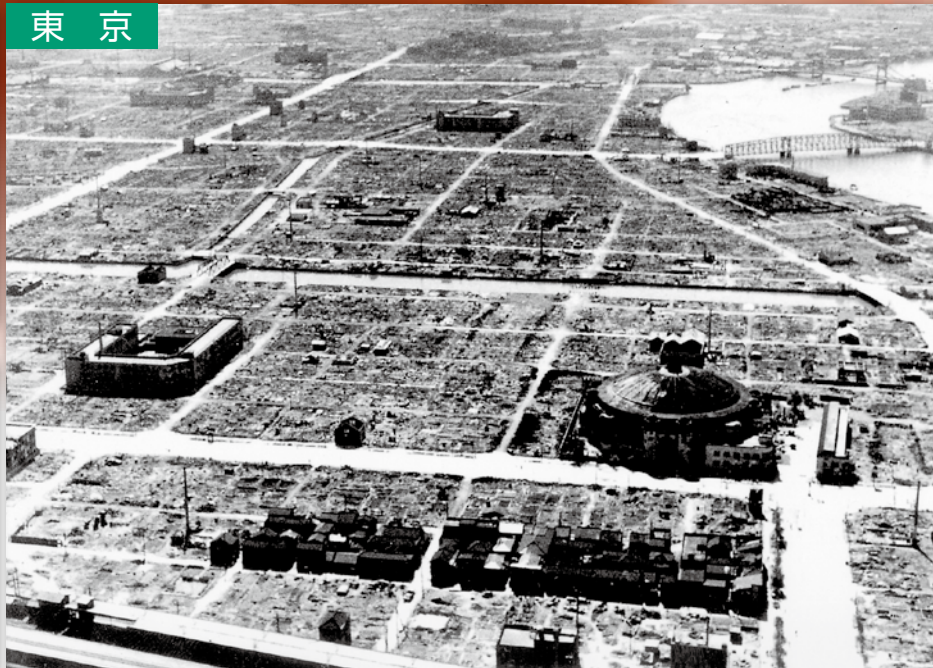
昭和20年7月10日の大空襲で仙台の中心は焦土と化しました。

## 北九州



八幡製鉄所を目標に空襲が繰り返されました。

## 東京



激しい空襲ですっかり焼け野原となった両国一帯。円形の建物は旧国技館。

## 名古屋



伏見の広小路から栄の久屋大通公園の方向のようす。たび重なる大空襲で名古屋城も焼失。

## 浜松



地方都市でもっとも多くの空襲を受けました。(浜松駅から中心街のようす)

## 空襲の証言

### 胴体だけの遺体。それが、「道子」だったんですよ

空襲警報が鳴ったので、家族全員急いで防空壕に入りました。爆撃が始まったとたん、防空壕のすぐ近くに爆弾が落ちて、「このままでは、生き埋めになってしまう」ということで、上の子を母に頼み、まだ乳飲み子だった下の子を抱えて、壕を飛び出したのです。

家から東へ百メートルほど行ったところ、また、爆弾が落ちてくる音がしたので、夢中で伏せました。起き上がってみると、自分の周りに四つも大きな穴があいていて、「ゾーン」としました。

空襲が終わり、みんなを探しに戻ってみると、逃げる途中に、夢中で伏せた所の道の四つ角に、頭と手足をもぎとられた胴体だけの遺体が、「ポツン」と横たわっていました。小さな子供のものだから、「も

関根ふゆさん／静岡県浜松市『偲ぶ草』（浜松市戦災遺族会刊）より抜粋

しかして」と思ってよく見ると、娘とよく似た模様の服を着ています。

娘には、けがをさせてはいけないと思って、暑いけど六枚の服を着せてありました。上の服から順に見ていったら、六枚が六枚とも、私が着せた物だったんです。

「ああ、これが道子か」と。あまりの悲しみと落胆とで、涙も出なかったですね。道子の遺体は風呂敷に包んで帰ったのですが、その足りの重かったこと。

結局、母の遺体は、どこにも見つかりませんでした。直撃を受けたのだらうと言うことでした。



# 原爆投下について

第二次世界大戦の末期に当たる1945年(昭和20年)8月、アメリカ軍によって広島、長崎に原子爆弾が投下されました。人類史上初めて、そして唯一核兵器が実戦使用されたのです。

原子爆弾は、高温の熱線と強い爆風だけでなく、強い放射線を放出し、放射能を有する塵などを多量に排出したため、被害は爆発の熱や爆風によるものだけでなく、原爆症と呼ばれる放射線障害や白血病や癌などの病気を被爆者に引き起こし、その影響は現在も続いています。

## 広島・長崎



原爆ドーム(広島県産業奨励館)

撮影者:林 寿磨  
提供者:広島平和記念資料館



原爆ドームと広島市街地

撮影者:米軍  
提供者:広島平和記念資料館



きのこ雲

撮影者:米軍  
提供者:広島平和記念資料館

右端のきのこ雲の写真は、米軍が松山上空から広島を撮影したものです。

広島では、1945年8月6日午前8時15分に原爆ドーム(広島県産業奨励館)の南東上空約580mの地点でアメリカ軍が投下した原子爆弾が爆発しました。広島での原爆死者数は、昭和20年(1945年)12月末までの推計で、約14万人とされています。また、長崎では、1945年8月9日午前11時2分に長崎市松山町の上空約500mの地点で原子爆弾が爆発しました。長崎での原爆死者数は、昭和20年(1945年)12月末までの推計で、73,884人とされています。

## 証言 藤村敏夫氏(松山市在住)

当時、私は勤労学徒として広島にいた。昭和20年8月6日、いつも通り8時前に寄宿舎を出て車庫で朝礼を受けた後、ミーティングを受けていたその最中に原爆は投下された。車庫の窓から青とも白とも紫とも言えない目に突き刺さるような光が入り、次に爆風と熱風が吹いてみんな2メートルくらい吹き飛ばされケガをした。私も頭にケガを負い、うすくまってしまった。

何がおきたかまったく分からなかったが、意識ははっきりしていたので、なんとか立ち上がり広島市の市街地を見ると、一軒残らず吹き飛ばされていた。たくさんの方が建物の下敷きになり、「助けてくれ」といたるところから叫び声が聞こえてきた。ある家では子どもが家の下敷きになり母親に助けを求めていたが、背中に天井が落ちており、どうにか手を握ったがどうしようもなかった。母親も家の下敷きになっていた。そのうち家が燃え始め、あたりは火の海になり、ついには親子の家も焼けてしまった。後で焼け跡を見に行くと、その親子は手を握り合っただけで白骨死体になっていた。(松山市平和の語り部報告書より抜粋)

## おこり地蔵

広島で原爆の被害に遭い、焼け跡で粗末になっていたお地蔵さんを住職の義母(西原ミサヲさん)が全部で7体自宅(広島市千田町)へ持ち帰り、玄関先にまつていました。「おこり地蔵」はその中の一体です。西原さんは「首なしではかわいそうじゃ」と言って新しく顔をつけてもらいましたが、それが怒っているようにみえたところから「おこり地蔵」と呼ぶようになりました。昭和45年、松山市の龍仙院へ身を寄せた際、他のお地蔵さんと一緒におこり地蔵を運び安置しました。

龍仙院 松山市御幸1丁目



# 図解・空襲と艦砲射撃はどんなものだった

戦争というと、ふつうは「敵と味方が撃ちあいながら戦う」とイメージしますが、ただ逃げるしか術がない非力な一般市民を標的とした空襲や機銃掃射、艦砲射撃の場合は「戦い」ではなく、圧倒的な力による一方的な「破壊」と「殺りく」の繰り返しでした。

## 戦闘機による迎撃

当時、日本がもっていた最新式の戦闘機でさえ、高度1万メートル以上を悠々と飛行するB29には太刀打ちできず、空襲を阻止することはできませんでした。

## 高射砲での迎撃

都市の周りにはB29を撃ち落とすための高射砲が多数配置されていましたが、旧式のものも多く、撃ってもB29に弾が届かないものがほとんどで役に立ちませんでした。

## 戦闘機の機銃掃射

空高くから爆弾を落とす爆撃機とは違い、戦闘機は地表すれすれにまで迫り、積んでいる機関砲で逃げる市民を狙い撃ちしました。

## 機銃掃射最大の悲劇・中央本線列車銃撃

昭和20年8月5日、新宿発長野行の列車が高尾山近くの猪鼻トンネル手前で数機のアメリカ戦闘機に襲われた事件は、機銃掃射による被害では最大とされています。満員状態をはるかに超え、車両から人があふれる状態で走行していた列車に向けて執拗に銃撃が行われ、確認されただけでも死者52名、重軽傷者133名という大惨事でした。走っている列車は機銃掃射の目標になりやすく、類似の被害は各地で起きています。猪鼻トンネル近くには慰霊碑があり、現在でも献花が絶えることはありません。



東京都中野区・常願寺の境内に現存する防空壕

## 防空壕

空襲から身を守るため、地下や崖などに穴を掘って作られた防空壕がまちのいたるところにありました。しかし、そのほとんどは気休め程度の構造だったので役に立ちませんでした。逃げ込んだ防空壕に爆弾が直撃するとひとたまりもなく、多くの人が生き埋めとなりました。

## 艦砲射撃

岸から見えるほどまで近くに接近した軍艦から、特定の場所をピンポイントで狙う艦砲射撃の威力は壮絶でした。茨城県日立市が攻撃を受けた時は、その轟音が東京や神奈川でも聞こえたといわれるほどです。敵の軍艦が陸地に近づくということは、国を守る力がなくなっていることを意味します。艦砲射撃を受けた室蘭や釜石、日立、浜松などの市民は、「艦砲射撃を受けたことは口外してはならない」と軍部から厳命されました。

## 「焼夷弾」と「爆弾」の違いとは？



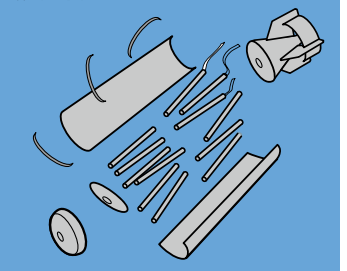
E46集束焼夷弾の模型(岐阜市平和資料室)

爆薬による爆発力で目標を破壊するのが「爆弾」であるのに対して、「焼夷弾」は激しい火災を発生させることを目的としています。その中身は爆薬ではなく、油脂やテルミットなど発火を生じさせる物質が詰め込まれています。

もともと日本空襲を念頭に、効率よく「木と紙でできた家屋」を焼き尽くすことを目的に開発されたものですが、兵器としては非人道的なものであり、アメリカ国内でもその是非については議論が起こりました。

1983年に至り「特定通常兵器使用禁止制限条約」が発効され、都市や民間人に対して焼夷弾を使用することが制限(全面禁止ではない)されました。

## 焼夷弾のしくみ



焼夷弾は一つの爆弾のように見えますが、内部には多数の焼夷弾が子弾として収納され、投下してしばらくすると分解され、四方八方にはばまられる構造になっています。